

主な事業（公共工事）

NO	県土整備部	災害レジリエンスNo. 1の実現	
実施目的	水害等の気象災害が頻発化・激甚化する中で、気象災害の新たな脅威にしっかりと対応できる「災害レジリエンスNo. 1」の実現に向け、ハード・ソフトが一体となった防災・減災対策を加速させる。		
規 模	R3事業費	21,817,353千円	
	令和3年度に実施する内容 【緊急水害アクション（3か年緊急レジリエンス戦略）】 ・堤防嵩上げ [鏑川(富岡市) 南牧川(南牧村) ほか] ・危機管理型水位計・河川監視カメラの設置 等 【重点水害アクション（5か年重点レジリエンス戦略）】 ・河川改修 [利根川(伊勢崎市・玉村町) 休泊川(大泉町) ほか] ・堆積土除去 [午王川(渋川市) 霧積ダム(安中市) ほか] 等 【防災インフラの整備（中長期レジリエンス戦略）】 ・土石流対策 [葦ノ沢(みなかみ町) ほか] ・がけ崩れ対策 [西久方町1丁目1地区(桐生市) ほか] ・道路整備 [上信自動車道、西毛広域幹線道路 ほか] ・無電柱化 [県道藤岡本庄線(藤岡市) ほか] ・落石対策 [国道353号村上工区(渋川市) ほか] 等		
発注・進行状況	・施工量（月当たり）の平準化を踏まえた発注を実施 ・設計・測量⇒用地交渉⇒工事発注の順番で事業実施		
完成時期	烏川下流工区(高崎市) 河川改修 下町南沢(下仁田町) 土石流対策 県道南新井前橋線2期工区(前橋市・吉岡町) 道路整備		令和3年度完成予定 令和3年度完成予定 令和3年度完成予定 等
効果等	水害対策では、令和元年東日本台風により越水等が発生した地域の河川堤防嵩上げ、甚大な被害が想定される地域の河川改修、堆積土除去、住民の避難行動を促すための危機管理型水位計・河川監視カメラの設置等を推進することで、水害リスクの軽減が期待されます。 土砂災害対策では、要配慮者利用施設や避難所等を保全する施設整備推進することで、土砂災害リスクの軽減が期待されます。 道路防災では、上信自動車道や西毛広域幹線道路等の道路整備、無電柱化や落石対策等を推進することで、大規模災害時の迅速な救命救助や被災地への支援物資輸送、経済活動の継続性の確保が期待されます		
担当所属	道路管理課、道路整備課、河川課、砂防課、都市計画課	連絡先	027-226-3598・3600、3576・3578、3618、3635、3672
関連HP	https://www.pref.gunma.jp/contents/100179234.pdf		